

# 神保町で本の“いま”を語ろう

## 本の学校 出版産業シンポジウム 2017in 東京

日時：2017年11月3日（金・祝） 会場：専修大学神田キャンパス

主催：特定非営利活動法人本の学校

後援：日本書店商業組合連合会 書店新風会 日本書籍出版協会 日本雑誌協会 日本出版インフラセンター  
出版文化産業振興財団 版元ドットコム 日本出版学会 専修大学文学部

### ■ 登壇者プロフィール ■

● 基調フォーラム 12:30～14:00

#### 神保町で本の“いま”を語ろう

本の世界は大きく変わろうとしています。紙の本を基盤に成立してきた従来の出版産業は市場の縮小によって再編や淘汰が進む一方で、ネットの拡散力によって、以前では考えられないほど本に関する多くの情報が発信されるようになり、本自体も電子書籍など多様化しています。こうした変化の時代にあって、本の持つ魅力や、本と人々の接し方などを、これまで以上に豊かにしていくにはどうしたらよいか。「本の街」神保町で、書き手、読み手それぞれの立場から思う存分「本」について語っていただきます

#### 【コーディネーター】

##### 河野通和（こうの・みちかず） ほぼ日の学校長、編集者

1978年中央公論社（現・中央公論新社）入社。「婦人公論」「中央公論」編集長を歴任。2008年6月同社を退社。株式会社日本ビジネスプレス特別編集顧問を経て、2010年6月新潮社に入社。季刊誌「考える人」編集長。2017年3月同社を退社。同4月ほぼ日に入社し、現職に就任。著書に『言葉はこうして生き残った』（ミシマ社）、『「考える人」は本を読む』（角川新書）がある

#### 【パネリスト】

##### 梯 久美子（かけはし・くみこ） ノンフィクション作家

1961年熊本県生まれ。北海道大学文学部卒業。編集者を経て文筆業に。2006年、『散るぞ悲しき 硫黄島総指揮官・栗林忠道』（新潮社）で大宅壮一ノンフィクション賞を受賞。同書は英、米、仏、伊など世界8か国で翻訳出版されている。2017年、『狂うひと「死の棘」の妻・島尾ミホ』（新潮社）で読売文学賞、芸術選奨文部科学大臣賞、講談社ノンフィクション賞を受賞。著書に『昭和二十年夏、僕は兵士だった』（角川文庫）、『昭和の遺書』（文春新書）、『百年の手紙』（岩波新書）、『廃線紀行』（中公新書）ほか



本の学校

# 本の学校

出版産業シンポジウム 2017 in 東京

## 出口 治明（でぐち・はるあき）ライフネット生命保険創業者

1948年三重県生まれ。京都大学を卒業後、72年に日本生命保険相互会社に入社。企画部や財務企画部に於いて経営企画を担当するとともに、生命保険協会の初代財務企画専門委員長として、金融制度改革・保険業法の改正に従事。ロンドン現地法人社長、国際業務部長などを経て、同社退職。2006年に生命保険準備会社を設立し、代表取締役社長に就任。08年の生命保険業免許取得に伴い、ライフネット生命保険株式会社を開業。13年に代表取締役会長に就任。17年6月から創業者として、ライフネット生命の広報活動・若手育成に従事。主な著書に、『生命保険入門 新版』（岩波書店）、『直球勝負の会社』（ダイヤモンド社）、『生命保険とのつき合い方』（岩波新書）、『「働き方」の教科書』（新潮社）、『人生を面白くする 本物の教養』（幻冬舎新書）、『働く君に伝えたい「お金」の教養』（ポプラ社）、『「全世界史」講義Ⅰ・Ⅱ』（新潮社）、『仕事に効く教養としての『世界史』Ⅰ・Ⅱ』（祥伝社）、『世界史の10人』（文藝春秋）など

## 東 えりか（あづま・えりか）

### 書評家 インターネット書評サイト「HONZ」副代表、日本推理作家協会会員

千葉県千葉市生まれ。信州大学農学部畜産学科卒。動物用医療器具関連会社の開発部に勤務の後1985年より小説家・北方謙三氏の秘書を22年務める。2008年に書評家として独立。連載誌は「週刊新潮」「読売新聞」「小説すばる」「小説宝石」「小説新潮」「ミステリーマガジン」「STORY BOX」「信濃毎日新聞」で主にノンフィクションの書評担当。森精機社内報『つながり』コラム「世界はノンフィクションでできている」、HONZ 記事配信（月間100万PV）（Yahoo News Smart News に配信）。「小説宝石」「小説新潮」「公明新聞」では小説の書評も行う。文庫解説担当著書多数。各社小説新人賞の選考委員として多数担当。日本推理作家協会賞評論賞選考委員。共著として『読書相談室』1-5（本の雑誌社）、『ノンフィクションはこれを読め！』『ノンフィクションはこれを読め！2013』（中央公論新社）、『10代のためのYAブックガイド150』（ポプラ社）

---

---

●第1分科会 14:30～16:00

## 編集長が本気で取り組む Web メディア

紙の雑誌が苦境の一途をたどる中、出版社の多くが Web メディアの運営に積極的に取り組んでいます。運営形態はさまざまですが、すでに収益の柱の一つとなり始めているメディアも少なくありません。今後出版社はどの紙媒体と Web 媒体を使い分け、雑誌のビジネスモデルを構築していくべきでしょうか。実際に Web メディアの運営に第一線で携わる編集長から現状と課題、展望を語ってもらいます

### 【コーディネーター】

#### 植村八潮（うえむら・やしお）専修大学文学部教授 博士（コミュニケーション学）

東京電機大学工学部卒業。東京経済大大学院博士課程修了。東京電機大学出版局勤務、同局長を経て、2012 年より専修大学文学部教授および出版デジタル機構代表取締役役に就任。2014 年 6 月出版デジタル機構取締役会長を退任し、現在に至る。専門は出版学で日本の電子書籍の研究・普及・標準化に長らく携わってきた。日本出版学会会長、納本制度審議会委員、NPO 本の学校理事も歴任。近著として『図書館のアクセシビリティ：「合理的配慮」の提供に向けて』（樹村房、2016 年、編著）、『ポストデジタル時代の公共図書館』（勉誠出版、2017 年、共編著）

### 【パネリスト】

#### 金泉俊輔（かないずみ・しゅんすけ）扶桑社 週刊 SPA!・日刊 SPA! 編集長

1972 年東京都生まれ。立教大学卒業後、1996 年に株式会社扶桑社入社。販売・女性誌編集等を経て、2001 年より週刊 SPA!編集部へ。IT や事件等を担当。2011 年 6 月に日刊 SPA!を創刊。2013 年 4 月より現職

#### 松原亨（まつばら・こう）マガジンハウス Casa BRUTUS 編集長 兼デジタル戦略室室長

1967 年東京生まれ。1991 年早稲田大学卒業、マガジンハウス入社。雑誌『ポパイ』の編集に 8 年間携わる。2000 年より月刊『カーサ ブルータス』創刊に参加。「安藤忠雄とメキシコへ。ルイス・バラガンを巡る旅」「アップルは何をデザインしたのか」など、幅広いテーマの特集を編集者として担当。2012 年同編集部編集長に就任。2017 年よりデジタル戦略室室長を兼務

#### 山田俊浩（やまだ・としひろ）東洋経済新報社 東洋経済オンライン編集長

早稲田大学政治経済学部政治学科卒。東洋経済新報社に入り 1995 年から記者。ほとんどの期間を『週刊東洋経済』の編集者、IT・ネットまわりの現場記者として過ごしてきた。2014 年 7 月から東洋経済オンライン編集長。2000 年に唯一の著書『孫正義の将来』（東洋経済新報社）を書いたことがある。早く次の作品を書きたい、と構想を練るもののまだ書けないまま

---

●第2分科会 14:30～16:00

## ブックイベントはやめられない～仕掛け人が語る舞台裏

本に関するイベントが増えています。一箱古本市やトークイベントを中心としたブックイベントが全国各地で行われるなか、売り手が直接本を販売する場や、海外との繋がりを模索するイベントも活況を呈しています。この分科会では、イベントに関わっている人のお話を伺いながら、人と本が出会うイベントを広げ、そして続けるために必要なこと、そして新しくイベントをはじめるときに必要なことについて考えていきます

### 【コーディネーター】

#### 浅井啓介（あさい・けいすけ）TAC 株式会社出版事業部／でるべんの会

1984年生まれ。早稲田大学卒業後、教科書会社を経て、2016年よりTAC出版へ。主に資格書、ビジネス書などの編集に携わる。出版関係勉強会「でるべんの会」代表

### 【パネリスト】

#### 下屋敷佳子（しもやしき・よしこ）アノニマ・スタジオ／BOOK MARKET

中央出版で営業を経験後、アノニマ・スタジオの設立に伴い移籍。現在は直販営業、流通、総務などを兼務し、2009年から出版社合同のブックフェア「BOOKMARKET」を開催している

#### 中島佑介（なかじま・ゆうすけ）POST／The Tokyo Art Book Fair

1981年生まれ。大学卒業後2002年にlimArtをスタートし、2011年にブックショップ「POST」をオープン。2015年からThe Tokyo Art Book Fairの共同ディレクターを務める

#### 中村佳史（なかむら・よしふみ）神保町・本と街の案内所／NPO 法人連想出版理事

1976年生まれ。国立情報学研究所を経て、NPO 法人連想出版理事。神保町では本と街の案内所の開設から運営に携わっている

---

---

●第3分科会 16:15～17:45

## ベストセラーを生む“出版プロモーションカ”

出版社が、出版プロモーションに積極的になっています。各社の得意ジャンルによって方法の違いこそありますが、メディア戦略によって、本を売り伸ばしている例が増えてきました。書店来客数が減少した時代こそ「出版プロモーションカ」しだいでベストセラーが生まれます。出版プロモーションの最前線にいる鬼塚氏、奥村氏が、豊富な成功事例と、今後の課題・展望を幅広く語ります

### 【パネリスト】

#### 鬼塚忠（おにつか・ただし）株式会社アップルシード・エージェンシー代表取締役・作家

1965年鹿児島生まれ。大学卒業後30歳まで海外を放浪する。1996年帰国し、31歳でイングリッシュ・エージェンシーに入社。「アルマゲドン」などハリウッド映画の原作小説などを手がける。2001年10月に、日本人作家のエージェント会社、「アップルシード・エージェンシー」を起こし、今に至る。自身も作家であり、「花戦さ」「Little DJ」「カルテット！」などは映画化されている。また、ジョン・レノン、デビッド・ボウイなどの商品化権を保有する株式会社 PAN の取締役も務める

#### 奥村知花（おくむら・ちか）書籍 PR / 本しゃべりすと

1973年東京都生まれ。成城大学文芸学部を卒業後、総合アパレル会社を経て、2001年に飲食店経営の株式会社オライオン入社。広報部を立ち上げ、2003年フリーランスとして独立したのちは書籍専門のPRに従事。2014年より株式会社博報堂と業務提携を開始。「本しゃべりすと」として読書の楽しみを伝えるために数々の執筆、番組出演などもおこなっている

---



---

●第4分科会 16:15～17:45

## 出版はどこでもできる～ローカルパブリッシャーのすすめ～

日本では多くの情報が東京に集まり、出版物も東京から発信されることがほとんどでした。しかし、最近では東京以外の地域で出版社を創業したり、東京ではあっても都心ではなく、地域社会に根ざした形での出版活動を行う人々が出現しています。ネットという新しい情報流通網の登場によって、むしろ出版活動が「中心」から自由になったということなのかもしれません。こうした「ローカル」に根を下ろした出版の楽しさと可能性に迫ります

### 【パネリスト】

#### 木下豊（きのした・ゆたか）

##### 出版業+農業。合同会社文屋代表、小布施牧場株式会社取締役

1959年長野県小布施町生まれ。明治大学を卒業。出版社、地域新聞社、海外遊学を経て、まちづくり会社（株）ア・ラ・小布施を仲間と設立、初代取締役事業部長。1999年、文屋を創業。経営理念は「和合と感謝。美日常の、安らかで和やかな、いいまちをつくりましょう。」（前）小布施町立図書館建設運営委員会会長、（現）小布施まちづくり委員会会長、小布施掃除に学ぶ会代表

#### 吉満明子（よしみつ・あきこ）

##### 株式会社センジュ出版 代表取締役 兼 book cafe SENJU PLACE オーナー

1975年福岡県生まれ。日本大学芸術学部を卒業後、編集プロダクションや出版社に勤務。役員や編集長職を経験ののち、東日本大震災や長男の出産がきっかけになり、2015年に足立区千住の自宅そばでセンジュ出版を設立。事務所に併設する6畳ブックカフェでは毎月イベントを実施、また、神社や寺院で開く「千住紙ものフェス」を企画・運営している

---

## ●第5分科会 16:15～17:45

### もっと売するための書誌情報とは？～JPRO 第2フェーズの幕開け～

2015年「出版情報登録センター（JPRO）」は出版物の近刊情報・販促情報・著作権情報を一元管理し出版業界の効率化を図るため設立され、新展開第2フェーズがスタートします。「本が売れるために本当に必要な書誌情報は何か？」をテーマに、出版情報に精通した現役の出版人と書店員が、課題や問題点とともに「真の出版情報インフラ整備」の未来を議論します

#### 【コーディネーター】

#### 木俣洋一（きまた・よういち）日本出版インフラセンター 事務局長

1954年東京生まれ。大学卒業後、家具メーカー勤めの後、1988年講談社インターナショナルに入社。日本文化を英文で紹介する書籍の海外販売に携わる。1994年より1997年、2000年より2011年まで系列会社講談社アメリカ(ニューヨーク市)にて勤務する。2012年日本出版インフラセンターに入社。ISBN 出版者記号の発行管理、近刊情報集配信の事業に従事、2015年出版情報登録センターの新設に関わり、出版情報(書誌情報・著作権情報・販促情報)を集配信するセンターを担当している

#### 【パネリスト】

#### 沢辺均（さわべ・ひとし）ポット出版代表

1956年東京生まれ。エディトリアルデザインのかたわら、1989年にポット出版として出版をはじめ。1999年12月に出版社5社で版元ドットコムを設立。JPOでは、2003年に出版在庫情報整備研究委員、2005年に商品基本情報センター、2010年近刊情報センター、2014年出版情報登録センターに関わる。2017年には版元ドットコムと図書館横断検索の(株)カーリルで openBD プロジェクトをはじめ。書誌・書影情報の収集・公開・利用環境の向上で出版市場の活性化をめざした活動をしている

#### 成瀬雅人（なるせ・まさと）株式会社原書房 代表取締役社長

1962年東京都生まれ。早稲田大学を卒業後、製薬メーカー人事部に勤務。1992年株式会社原書房に入社。1999年より現職。日本書籍出版協会常任理事、図書館委員会副委員長、これから出る本小委員会委員長。出版梓会副理事長、図書館委員会委員長。時間があれば全国の図書館を訪れている

#### 庫本善夫（くらもと・よしお）

#### 庫書房店長 奈良県書店商業組合理事（事務局担当）本屋の村有限責任事業組合代表

1948年徳島市生まれ。1972年同志社大学法学部法律学科を卒業、同年3月に両親が開業した庫書房にはいる。1998年「本屋の村（任意団体）」を関西の書店で結成し書店用業務ソフト「楽楽ほんやさん」をリリース、2006年に有限責任事業組合に改組し登記。書店業務のほかパソコントラブルサポートを業務とし、学校図書館電算化サポート、地域のPC教室や障害者等のパソコン教室講師も務めている